

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
1	オン ライ ン	<p>多様な子どもたちへの対応について、現在のさわやかなようなクラスに対して、問題のある子という概念を外して、入学時、あるいは進級時に親子で自由に選択できるしくみを設けて欲しい 普通と特別という分け方でなく、その子に合ったスタイルの学びができるような体制が必要だと思います 明治からの軍隊教育、工場作業員を育てる一律みんな言うことを聞く子、そんな時代は終わりました ひとりひとりがこれからの世の中で生産性を考えられる人材を育成してください</p>
2	オン ライ ン	<p>①外国籍・児童生徒の指導に関する部屋の確保等を計画に入れておく必要があると思います。 ②コミュニティへの開放エリアが設定されていることは重要であると感じます。 イメージとしては、CS関係者は自由に活用でき、それ以外の地域の方は体育施設のようにあらかじめ予約ををしてカギを借りにくるようなつくりとして、夜間や休日は校舎内をシャッターか扉で区切り、利用者がすべての校舎内を自由に行き来できるようにするのを防ぐようにするものと想像します。 地域の方が自由に使えるエリアの中には、体育施設や会合の部屋などが含まれることと思いますが、先々のことを考えると以下のようなものも地域エリアに含まれていると良いと思います。 ア教室くらいのサイズの多目的スペース(水道などもついた部屋) 地域の方の主催で行われる学習会や講習会、料理教室などさまざまな活動に使えることを想定した部屋が良いと思います。 「勉強なら教室、料理なら調理室を使えばいいじゃないか」という考えもあると思いますが、そうすると職員が校舎の鍵を開け、最後に閉める必要が出てきてしまいます。休日や夜間にも職員の手を借りずに、地域の方の意思で自由に使える部屋があるところがとても重要だと思います。職員の負担が増えるとかそういう意味ではなく「私たちの学校」という気持ちになるためには、自由に使える部分も設定されていることが大切だと思うのです。 イ音楽室 地域専用の音楽室が欲しいという意味ではなく、学校の音楽室と共用でももちろん構いません。 地域エリアを借用した地域の方が、音楽室にもはいるように音楽室を1階にしておくのとよいのではないかと案です。 部活動は今後ますます地域移行されます。運動部は休日の活動等を地域の方の指導で進める部も増えてきています。現状の施設でも借用していれば、地域の方に体育館のカギを渡すことも可能です。 しかし、吹奏楽部を休日に指導したいと言ってくる方がいても、その方に校舎のカギを渡すことはできません。職員室も教室もひとつながりになっているからです。したがって、吹奏楽部は地域の方にレッスンしていただく場合にも、カギの開け閉めを行うために教員がつかなければなりません。新しい義務教育学校では、あらゆる場面に自由度をもって地域人材が関わることを想定する必要があります。 そのためにも地域エリアに音楽室が隣接しており、地域用のカギで校舎に入った方が使えるようになっていることが大切だと考えます。 ③グラウンドについて 現在のグラウンドは砂埃問題と草問題に非常に悩まされています。 全面が樹脂でカバーされたグラウンドは魅力的ですが、コスト面では問題がありそうです。 グラウンドのトラックやフィールドなどの運動エリアは土とし、周囲を樹脂カバーしたらよいのではないかと考えます。 グラウンドがぬかるんだ場合でも、カバーされたエリアを使って体育ができますし、雑草や砂埃も一定程度軽減されます。またいざという時のための駐車エリアにも使えるかと思っています。</p>
3	オン ライ ン	<p>みんながくつろげるスペース(部屋)を作って欲しいです。 みんなが自由に育てられる畑(花壇)を作って欲しいです。 地域の人と関われるスペース(部屋)を作って欲しいです。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
4	オンライン	<p>お世話になります。構想、計画に目を通して、質問と意見を以下に整理しました。</p> <p>【質問】</p> <p>①基本構想、基本計画を作成する上で、イメージ・モデルとしている学校があれば教えてもらいたいです。文字ベースでの説明文だとイメージがしにくかったりするところもあるので、よりイメージできるためにもモデル校的なものがあると、目指している学校像もわかりやすいと思いました。</p> <p>②現役の教員の方々の意見はどれ程反映、取り入れられているでしょうか。先生たちが、現状抱えている課題への対策が盛り込まれた計画になっているかどうか、大変重要かと思えます。素人の市民が意見言うことも一つ意味はありますが、現役の教員の方の意見は、現場にてリアルに課題を感じられていると思うので、できるだけ教員の方々が働きやすい、よりより学校になるようなアイデアを沢山盛り込みたいです。</p> <p>③徒歩通学を2.5km以内とした理由を知りたいです。低学年だと40分以上時間を要すると思うため、少し長く感じました。基準があれば知りたいです。</p> <p>④相良地域のコンセプトが決まった経緯を知りたいです。なぜ、夢、がキーワードになっているのでしょうか。</p> <p>【意見】</p> <p>①仮ということですが、「心の相談室」は、固くてネガティブな印象を持ちました。単なる私のアイデアですが、いくつか考えてみました。1ゆるりルーム、2きずなステーション、3ほっとスペース、4お話の庭、5なんでも相談ルームできるだけ、子供たちが通いやすい名称、行くことが恥ずかしいと思にくい名称にして欲しいです。あと、デザインや内容も大変重要なので、明るく、落ち着く、子供たちがリラックスできるような空間を作りをお願いします。</p> <p>②上記の質問でも記載した相良地域のコンセプトについて、「夢」をキーワードとして見受けられます。大人がよかれと思って、子どもが夢を持っているか質問することはよくあると思いますが、「夢を持っている子＝よい子、夢を持っていない子＝残念な子」というレッテルが無意識に貼られがちです。端的に使う単語としては、難しく危険な単語に思えます。希望につながる、希望を持てる、とした方が、現代の夢教育に近いと思います。夢をキーワードにしない方が良いと思います。ご検討頂きたいです。(参考:https://toyokeizai.net/articles/-/98497)</p> <p>私の子供も義務教育学校に通う予定のため、構想・計画は全て読ませてもらい、投稿させてもらいました。お忙しい中大変恐縮ですが、大変重要な事業のため、是非、この街の強い魅力になる学校作りをしていてもらいたいです。お力になれることがあれば、いつでもご協力させていただきます。日本一素敵な学校作りを目指したいです。宜しくお願い致します。</p>
5	オンライン	<p>老朽化した校舎、次第に増えていく空き教室、減少する生徒数、そういうものを身近に見ていますので、一つにまとめ上げていこうという計画自体に反対する気はありません。どのような校舎がどのような形で運用されるのかわからないことが不安です。積極的な情報開示を求めます。</p>
6	オンライン	<p>課題は山積みかとは思いますが、先進地視察をしてきて、ここはこうした方がよいといただいたアドバイスは極力反映(実態が違うと難しいかもしれませんが…)させていってもらえたらと思います。</p>
7	オンライン	<p>通学方法など、距離の基準が出ていますが、具体的にどの道路で区切るとか、給食のワゴンをどのように搬入するとか、これから細かく決めていくことがたくさんあると思います。また、職員人数や勤務体制など、現職員は気になることが多くあると思います。</p> <p>校舎の教室配置など、興味がありますので、決定したら見たいです。</p> <p>これからの子供たちが有意義な学校生活を送るためにも、何回も審議、相談、修正をして、素晴らしい教育環境にしていきたいです。</p>
8	オンライン	<p>概ね賛成です。特に、解放感ある校舎作りがよいと思いました。地域の方が使える施設もあり、より地域密着型となる学校ができるのだなと感じました。しかし、地域への解放スペースがある一方で、子供たちが学習中の防犯面に関して疑問を感じます。いつでも、誰でも入れる環境では、子供たちの安全について、教師として不安を感じます。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
9	オンライン	学校にかかわる人たちのことを考え、細かなところまで配慮された計画だと思います。義務教育学校開校への夢が広がってきます。 気になったところは以下の点です。 ・P.17 「プレゼンスペース」について注釈が必要 ・P.34 「相談室」「こころの相談室」はプライバシーに配慮した遮音壁が欲しい ・P.34 「職員更衣室」は防犯上、昇降口近くより職員室近くにあるほうがよい ・P.37 「防災倉庫」は市と学校のものを使い分けて保管できるような工夫が必要
10	オンライン	「ワタン」を大切にしていって共感をもてた。まずは、「自分っていいな」と思える実感を味わってもらえるようにしていけたら、自信にもつながるだろう。また、場の設定も特別支援学級と通常級へのつながりを意識した内容があり、安心した。横とのつながりも感じられてよかった。給食の配膳は各教室で行うイメージだろうか？ICT機器も充実するにあたって、保管庫のスペースや置き勉の荷物の確保も考えてもらえると助かります。
11	オンライン	構想自体は良いと思います。 ただ、榛原中跡地ではなく、ぐりんぱるなど高台に建てた方が安心だと思います。
12	オンライン	校舎が新しくなり9年生までを見通した教育ができることに魅力を感じます。しかし、義務教育学校になることで教員の多忙化が進むなど、不安もあります。教員の負担ができるだけ少なくなることを望んでいます。
13	オンライン	今現代を生きる子供たちに合った、子供たちが通いたくなる学校にぜひしてほしいです。それについて、いろいろな特性のある児童にとっての居場所が考えられておりいいなと思いました。（整備方針の「ワタンの居場所」） また、自然豊かな牧之原市の地域との協働も期待しています。豊かな自然の中での体験を存分に育ててほしいと願います。体験に勝る学習はないのでは…。（地域とともにわくわく学び…みんなの学校）
14	オンライン	子供たちの楽しい学校づくりが実現するといいです。
15	オンライン	子供たちが生き生きと学べる学校になるといいですね。 地域とのつながりをこれまで以上に大切にしていってほしいと思います。
16	オンライン	義務教育学校の校舎や設備が小学校の児童、中学校の生徒、教員にとって使いやすく、居心地のよい所であってほしいと思います。 そうすることで、児童生徒が安心して豊かな学びができるようになると思います。
17	オンライン	校舎や施設が使いやすく、子供も教職員も過ごしやすい学校になればいいと思います。
18	オンライン	小中を一貫して育み、教育活動を行っていくという方針は、見えない不安も大きいですが、それ以上に金銭面や、人員不足の面でも大きく助けになるように思う。なので、あらゆる方向から見直し、考えた上で計画を進めていって欲しい。

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
19	オンライン	<p>現在整備中の多目的体育館との連携により一部施設を共有する等の検討を行えば整備費用を縮減できると考える。2施設間の距離は2.5kmあり整備する学校施設との連携は困難である。今後人口減少が進展する中で維持コストを考えると費用対効果の面で疑問である。</p> <p>今後市財政の余力がさらに限られていく中で新たな施設整備に拘泥するのではなく現状の施設をいかに活用していくか市当局の横連携により検討が必要である。</p> <p>通学路については「開校準備の段階で検討する」とあるが、道路管理者である建設課の予算が限られる中で現状学校施設整備予定の大沢インターチェンジ周辺の道路整備予算が確実に確保される保障がない中でなぜ中心市街地から奥まった場所に整備を検討しているのか疑問である。また、大沢インターチェンジ付近は通学時間に市内外への通勤者が多く通行することもあり交通事故の危険性が現状よりも高くなることが想定される。通勤通学の安全性を確保するため速度制限やゾーン30等の指定を検討し静岡県警察等との連携を検討してほしい。</p> <p>多目的体育館整備や今回の学校整備において相良地区の中心市街地の活性化と一体的に整備を検討しているそぶりがなく感じている。中心市街地からは静岡鉄道のバスターミナルも移転し市街中心部の衰退が加速している中で交流人口を減らすような施設整備が続いているように感じる。相良地区の地域振興が軽視されている状況は座視できないが市商工会等と連携し現状の小中学校施設（解体後の用地活用でも可）を用いた中心市街地活性化施策の検討を行ってほしい。</p>
20	オンライン	<p>学校跡地活用について、令和5年議員全員協議会において示された「牧之原市学校跡地利活用方向性案「素案」」では令和5年度中に方向性を決定するとあり、令和6年度以降に活用方向性を決定し令和11年度以降に応募条件を整理するとある。しかし学校施設の整備は令和10年からを予定しており開校は令和15年からとなっている。市の体制として学校整備にリソースが多く取られる中で民間事業者の誘致ができるとは到底思えない。学校施設整備開始までに旧校舎活用の方向性を決定しておく必要があると感じる。市当局の横連携とともに市町や議会のリーダーシップのもとに早期に方向性や中心市街地活性化策を検討していくべきである。</p>
21	オンライン	<p>次世代を考えた構想・計画になっていると思いました。教室、図書室、さまざまな活動場所についてもとても考えられていると思いました。しかし、今物価高騰や子ども数の減少などの問題もあるため、本当に可能な施設にしていきたいです。</p>
22	オンライン	<p>トイレについて 多目的トイレがほしい(トイレ介助が必要な児童がいる)</p> <p>エレベーターについて 車椅子生徒、児童と介助者が乗れて、荷物も乗せれるものにして欲しい</p> <p>シャワー室について 特別支援学級棟にもトイレ失敗する子が多いので、シャワー室をつけて欲しい</p>
23	オンライン	<p>5年生以上が部活動参加になるのであれば、部活指導の負担が今より増えてしまうのではないかと思います。</p>
24	オンライン	<p>わたしがという子供主体の考え、感覚を意識しているところがいいと思います。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
25	オンライン	<p>特に、用地選定について、意見をします。 用地選定委員によって、相良、榛原候補地より選定されたが、この間広報等により、市民に知らされたが、決定後に市民には広報等のみの情報提供のみで、市民説明会は行われていません。（学校跡地利用は別） ここで多くの疑問点があるので、陳述します。 まず、ここ牧之原市は「東海・東南海・南海トラフ地震」想定域にあります。そして、市民約4万5千人うち最悪1万5千人の死者数が被害想定されています。そこで、用地選定においては、学校施設の「防災・安全」が最優先されるべきです。 ①候補地選定にあたっての評価基準について、 12年前の「3・11東北大地震」で学校教育関係で、は多くのことを知らせれました。 1、石巻市大川小学校の悲劇 2、釜石の奇跡 3、原発災害・放射能からの避難 1・石巻市大川小学校の悲劇 石巻市大川小学校は海岸から3.7kmの川沿いに建てられていました。74名の児童と10名の教員が亡くなり(不明者を含め)4名の児童と、1名の教員しか逃げ切れませんでした。 榛原候補地、海岸から約2.5km、勝間田川沿い 相良候補地、 2.8km 菅ヶ谷川沿い 2・釜石の奇跡 防災教育・訓練により、小中学校児童生徒、地域住民の協力により、高台への避難ができた。 3・原発災害・放射能からの避難 地震災害発生、一次避難と、放射能からの2次避難の必要。避難経路の確立、（水没しない、高台尾根・道路など、） 以上の3・11の教訓より、今回の選定評価基準は、防災(安全性)の配点が低すぎる、評価配点の半分が相当と考えられる。(情報公開では、評価基準の配点の根拠資料が分からないとのこと) 以下配布資料より、独自修正評価配点によれば、高台移転の方が有利とも考えられる。 ②用地選定は、総合評価シートでは問題があるのでは？ 10名の選定委員の互選で候補地から選定されたと考えたが、実際は、すべての点を合算した無謀な候補選定ではないか。 つまり、「山側と海側」の候補で、9名が各自「100点 対95点」で「山側」を選んでも、1名が「海側」を「50点 対100点」で選べば、総合点で、「海側」となってしまう。 ここで数字のマジックを使う事はない。 ③個別総合評価シートを見て あまりにも「ばらつき」が多い！これが討論会合を経ての事なので、(初見の評価ならわかるが)選考委員間で、認識の違い、評価の差がありすぎるのは、結論が早すぎたのではないかと十分な審議がなされていない証拠となる。 ④最後に、昨年6月の倉斗綾子准教授の講演会で、陸前高田東中学校が高台移転と同じように、配布資料での、榛原「ぐりんばる周辺」相良「い〜らから、総合グランド周辺」の高台を予想していた先生に、来年2月の講演会で、川沿いの低地に決まったことを「笑われなければいいが？」</p>
26	オンライン	<p>スクールバスについてお尋ねします。 ①スクールバスの利用は無償とのことですが、スクールバスの運行は何台を予定していますか？ ②スクールバス運行の費用は年間いくらを想定していますか？ ③スクールバス運行の費用の内、国の補助金はいくらですか？ ④スクールバスの補助金の対象は総額に対してですか、あるいはバス1台に付きですか？ ⑤スクールバスの補助金には限度がありますか、それは金額ですか、台数ですか？ ⑥スクールバスの補助金には期間に限度がありますか？ ⑦現在片浜地区で運行されているスクールバスの内容、費用、補助金を教えてください。</p>
27	オンライン	<p>2.5km以上はスクールバス通学で無償とのことですが、国のスクールバス補助金の対象は4Km以上なのではありませんか？</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
28	オンラ イン	<p>第1章 目的と位置付け(p2) 2 背景 ・「キャリア教育」「起郷家教育」という言葉が出てくるが、これらは、牧之原市が目指す義務教区学校の肝になる部分と思うので、牧之原市民にわかりやすく説明を加えてほしい。</p> <p>第2章 条件整理(p9) 第3 通学方法について ・【通学方法の基本的な考え方】④の文章に勝間田地区の一部地域(切山、最明寺、勝田、勝間地区等)等該当地区を加えてほしい。</p> <p>第3章 施設整備の方針(p12) 第2 学校施設のコンセプト ・「学校施設のコンセプトは、開校前に作る説明用の青写真の段階であるので、本案を参考にして今一度、開校前1年時に教職員、学校運営協議会メンバー、PTA代表、地域代表が協議して作成する。」の文言を入れておいていただきたい。</p> <p>第3章 施設整備の方針(p14) 第3 学校施設の整備方針 1 ワタシをつくる ・本項目の説明文書「子ども1人1人 → 子ども一人一人」だと思います。</p> <p>【学校施設整備基本計画】 第1章 施設整備の基本計画(p19) 第1 ワタシをつくる 1 ワタシの居場所 (4)誰もが健やかに生活できる環境 ・トイレは、現在の生活様式に合わせ、主流となっている洋式トイレを基本とし、清掃しやすく清潔が保ちやすい乾式とします。の後半に「加えて、障がいをもった人も使用できるスタイルにします。」を追加 ・災害時の避難場所として機能するためにソーラーシステムや雨水による飲料水が確保できるような機器を設置しておきます。 ※ 上記の一文が入らないか？</p> <p>第1章 施設整備の基本計画(p21) 第1 ワタシをつくる 2 ワタシが学ぶ (3)多様な子どもへの対応 ①に関して 現在の学校でも、外国籍の日本語指導にはたいへん苦慮しています。「安心な学校」をコンセプトにするならば、日本語指導がきちんとできる教室を設置すべきで、その指導者も必要数確保すべきと考えます。記述にあるような「会議室や相談室等の併用」は無理だと思います。9年制の義務教育支援学校となり将来を見すえた国際的な学校を目指すのであれば、きちんと指導できる国際ルーム等の名称で教室設置をしていただきたい。 ②に関して 本項目には、不登校や不適應児童生徒のための適應指導教室(支援教室)の設置について具体を記載していただきたい。教室数、担当教員(正規、臨時の別)数を記して現教職員に向けて安心感を出していただきたいと思います。(浜岡中学校では、適應指導教室の運用を生徒のニーズに合った形として、生徒が登校する時間に担当する職員が付くスタイルを取っています。教室の大きさも図書室くらいあり、の複数の職員が常駐して体制を作っています。)</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
28	つづ き	<p>第1章 施設整備の基本計画(p23) 第2 つながる「人・学び・体験」 1 9年間がつながる (2)9年間の教育活動が充実する環境 <4点目の項目に関して> 理科室、家庭科室、音楽室、美術室(図工室)の特別教室は、児童生徒の学びに応じた教室数が必要であって、それぞれが前期課程、後期課程の児童生徒を兼用させるスタイルは良くないと思います。吉田中学校の場合、生徒数800名に対して理科室は4クラスが必要であり、3, 4, 5, 6年生が学理科室も考えて設置しなければいけないと思います。このことは、現職の理科教師にヒヤリングをした結果でしょうか・・・？ <6点目の項目に関して> グラウンドの後ろに「体育館、プール」が入ると思います。</p> <p>第1章 施設整備の基本計画(p24) 第2 つながる「人・学び・体験」 2 教職員がつながる (1)コミュニケーションが取りやすく、効果的・効率的な執務環境 ・教員が機能的かつ学びの充実を提供できるために教科部室、学年部室の設置をします。(追加) (2)働きやすい環境の整備 ・妊娠している教員に対し、横になって休める休憩室として和室を設けます。(追加)</p> <p>第1章 施設整備の基本計画(p25) 第2 つながる「人・学び・体験」 3 地域や社会とつながる (2)地域と共にある学校としてみんなが利用できる環境 ① 複合化する施設 a 放課後児童クラブ ・安定して支援員が確保できるようスタッフの充実を目指します。(追加) ② 多機能化による地域の利活用 <4点目項目に追加> 「・・・貸し出しや空調、『ソーラーシステムの導入』等の管理がしやすい・・・ ※『』内を追加第1章 施設整備の基本計画(p26) 第2 つながる「人・学び・体験」 3 地域や社会とつながる (4)地域性を活かした施設 ・スクールバスや雨天時の保護者の送迎で学校周辺が渋滞し、地区に迷惑を掛けないう道路事情を良好にします。(追加)</p> <p>第1章 施設整備の基本計画(p27) 第3 ささえる 1 安全と安心 (1)誰もが安心して過ごせる安全な施設 <5点目に追加> 「・・・必要な洪水対策(『地元河川の整備、貯水池を設置する等』)を実施することで、学校『及び地区』の安全性を確保します。 ※上記文に2つの『』部を追加します。 <8点目の文を以下のように改訂> ・開校に向けて、事前会議(学校、学校運営協議会、PTA代表、地区代表)を1年前までに設け、子どもの安全性が十分に担保できるよう準備します。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
28	つづ き	<p>第1章 施設整備の基本計画(p28) 第3 ささえる 2 長期的な使用 (1)維持管理しやすく長期的に使用できる施設 ※ 災害時不可抗力によって起こった破損や不備に対して対応できる建物共済保険への加入は市としてできませんか。(意見)</p> <p>第1章 施設整備の基本計画(p29) 第3 ささえる 3 環境に優しい (1)脱炭素社会に配慮した環境にやさしい施設 <5点目文書に対して意見> ……再生可能エネルギー設備(発電・蓄電池・『雨水の利活用等』)を計画します。 ※ 上記『』部を追加 ※ 雨水を溜めてグラウンドへの散水や植物への水やり、災害時の浄化しての飲み水確保も考えて対応したい。(意見)</p> <p>第2章 施設の考え方(p30) 施設共通の考え方 枠内4点目の「安全な配置計画」について一文を追加 ……交通渋滞等の緩和が図れるよう、『地区住民と共に話し合い適正な』配置や出入口等を工夫する。 ※ 上記『』部を追加</p> <p>第2章 施設の考え方(p33) 第1 屋内施設計画 2 管理エリア (4)保健室 ※ 保健室は義務教育学校となった時、これまでの小中それぞれのニーズに合った環境とするために、具体的には現役の養護教諭にその設計を考えてもらう必要があると思います。(意見)</p> <p>第2章 施設の考え方(p34) 第1 屋内施設計画 2 管理エリア (7)こころの相談室(仮) <1点目の文に意見> ※ 現状の右党校、不応児児童生徒数からすれば2部屋では足りないのではないかと……？ 不登校児童生徒との関わりにおいては、卓球等軽い運動ができるスペースがほしいので、ある程度の広さを考えたいです。(意見) ・人的環境として児童生徒のニーズに合わせて子ども3人に1人の指導者(支援員)が付けるようします。(追加)(前項p21(3)②の記述を参照)</p> <p>第2章 施設の考え方(p34) 第1 屋内施設計画 2 管理エリア (9)その他の諸室 ②職員更衣室 <2点目の文に対する意見> ※ 妊娠をしている教員への配慮をするために更衣室の和室化やソファ等の設置を考えたい。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
28	つづ き	<p>第2章 施設の考え方(p35) 第1 屋内施設計画 3 地域開放エリア (1)特別教室 【特別教室一覧】内の配置数の修正(意見) ○ 理科室 前期課程用、後期課程用それぞれに相良3学級榛原4学級を設置する。(意見) ※ 前期課程用と後期課程用では学習内容が異なり、10分の休み時間での実験用具等の準備や片付けは厳しい状況にある。この原案は、実際に現職の理科教師にそれぞれ(小中で)聞き取った結果でしょうか？ ○ 芸術教室 図工室(前期課程) 武術室(後期課程)ともに1学級を2学級に増やす。(意見) ※ 小学校4学年、中学校?学年でそれぞれに3学級から5学級(MAX)で時間割を組んだ時に、それぞれの課程において1学級では足りなくなると思います。 ○ 家庭教室 調理室、被服室共に1学級から2学級に増やす。(意見) ※ 前期課程用のクラスと後期課程用のクラスが機能的に授業が進められるためには、時間割編成も考慮して1学級から2学級に増やしておきたいです。 ※ 特別教室一覧に記述された教室数については、現職の小中学校の先生方の意見を聞いて、しかも教務主任に時間割編成作業を念頭に打ち出した具体的な学級数でしょうか……？ここは、お金が掛かっても実質の運営状況を鑑みて決定しなければならない数ですので慎重に検討をしていただきたいと思います。何よりも主役は、子どもと教員です。共にストレスがなく、楽しく余裕を持って学習できる環境を作ることこそ第一に考えていただきたいと思います。</p> <p>第2章 施設の考え方(p36) 第1 屋内施設計画 3 地域開放エリア (1)交流スペース ②地域活動室(CSルーム) ・出入口については、校舎内を移動して出入りするのではなく、外から自由に入れるように配慮します。(追加)</p> <p>第2章 施設の考え方(p36) 第1 屋内施設計画 3 地域開放エリア (3)屋内運動施設(体育館・武道場) ※ プールは、市の施設を使って体育の授業(水泳の授業)を実施する。教育課程編成の工夫で年間を通して各学年の配当時数が消化できるようにする。基本2時間を1回として集中講義的に水泳の授業を行う。移動手段は、スクールバスを使う。(意見)</p> <p>第2章 施設の考え方(p37) 第1 屋内施設計画 3 地域開放エリア (4)その他地域開放スペースに整備するもの ③メモリアルスペース ・地域の方が自由に参観できるよう配慮します。(追加)</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
28	つづ き	<p>第2章 施設の考え方(p37) 第1 屋内施設計画 4 エリアを指定しないもの (1)学校図書館 ・市の図書館や県の図書館とネットワークを結び貸し出しが両方からできるようにします。(追加)</p> <p>第2章 施設の考え方(p38) 第1 屋内施設計画 5 その他 (2)廊下・階段 ・給食の運搬用エレベータを人が乗れるタイプのものにして障がいをもった児童生徒も使えるようにします。(追加)</p> <p>第2章 施設の考え方(p39) 第2 屋外施設計画 (1)グラウンド ・散水については雨水等を溜め置き、上水道を使わなくても良いように節約を図ります。(追加)</p> <p>第2章 施設の考え方(p39) 第2 屋外施設計画 (2)プール ※ P36(3)でもふれたように経費の節約を考えれば、市のプールを1年掛けて1回2時間ずつの授業として教育課程を組み授業を回せば可能と思う。1年間を掛けてそれぞれの学年が10時間足らずであれば、各学年に割り振り授業を設定したらいかがでしょうか？移動は、市のバスを使用する。(意見)</p> <p>第2章 施設の考え方(p39) 第2 屋外施設計画 (3)車路(ロータリー)・駐車場・駐車場 <2項目目の漢字> 複数個所 → 複数箇所</p> <p>第2章 施設の考え方(p39) 第2 屋外施設計画 (4)その他外構 <3項目目の文を修正> ・・・を設置します。 → を設置すると共に電源確保をして電気代の節約を目指します。(修正)</p> <p>第2章 施設の考え方(p42) 第3 設備計画 (1)電気設備計画 <3項目目の文に追加> ・・・機器とします。加えて電源は、ソーラーシステムによる再生可能エネルギーを中心に賄います。 (追加)</p> <p>第4章 推進に向けて(P58) 意見 ※ 工事施工計画は記載されていますが、上記(仮称)開校準備委員会も含め、令和6年(2024年)より令和14年(2032年)までの話し合い計画を具体的に記載していただきたい。特に学校施設再編室が企画するプランを教職員、保護者、地域住民がしっかり目を通して納得のいく計画とその進捗状況を確認しながら進めることは牧之原市民全員が参画しての学校づくりにつながるものと考えます。今後において、大変でしょうが事務局は、牧之原市民が新しい義務教育学校の開校に対してしっかり関心を持って進んで行くためにも、計画が透明性と説明責任を果たして行っていただければと思います。(意見)</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
29	オン ライ ン	相良地区と榛原地区では学校施設のコンセプトが違いますが、旧相良町と旧榛原町の合併時の約束である一体性の確立を考えると、同一コンセプトであるべきだと思いますが、あえて別のコンセプトを採用した理由は、コミュニティ・スクール推進の上で、地域との関わりを重視するという観点からなのでしょうか？
30	オン ライ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との合意形成で計画を進めて欲しい。区の代表が出席し賛成同意してと言うが直接話を聞くと全く理解しておらずこちらからの質問に対して答えられない現状に驚かされている。自治会がしっかり機能していないのが問題であり行政による指導が必要です。これでも同意していると言えるのでしょうか？このまま計画を進めて果たして子どもたちや地域住民にとっての最善の利益となるのでしょうか。立ち止まってもっと時間をかけて下さい。 ・旧相良町は公民館活動を通して地域づくり、人づくりを深めその活動の場として公民館や学校を利用してきました。 これから人との絆をつないでいく意味でも菅山小学校は必要です。子どもたちが身近にいる事こそが区民の励み元気の源となっています。 地元の子供たちは地域で育てるそうあってほしい。 ・防災面でなぜ山側の地域の人たちが海に向かうのか？素朴な疑問です。遠い地区の保護者にとっては心配不安しかない。用地選定の条件に地域の理解を得るとあるが到底理解されてるとは思えない。 ・現在不登校児童が増加しており学校が対処しきれていないのが現状です。大きな学校になって更に増えると予想される。結果教師が疲弊する、子どもたちのストレスも増す。現実をしっかり把握して子どもたちや保護者に理解と安心を与えるのが先決では。 ・小規模校のメリットデメリットをもっと提示し議論し合う場を設けてほしい。中一ギャップについても同様。 ・小学校入学を迎える未就学児への心のケアや環境への配慮はどのように考えているか？ ・小学校は児童・校舎ともに既存のままにし小中一貫としての遠隔授業につないで他校との交流を深めればよいのでは？ ・既存校舎存続と新校舎の予算比較について紙面上ではなく対面でしっかり丁寧な説明が必要です。借金＝税金、納税する市民は牧之原市から離れていくでしょう。 ・基本構想・基本計画案に対しての細かい意見は対面での説明をきかないと中身を読んだだけでは理解できないのでぜひ報告会の前に説明会を開いてください。
31	オン ライ ン	計画、設計は公開設計競技とすることを提案します。

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
32	オンラ イン	<p>「牧之原市義務教育学校施設整備基本構想・基本計画(案)」(以下、「基本構想・基本計画(案)」という)について市民の意見募集がありましたので申し上げます。</p> <p>まずその前に、義務教育学校が7年後、あるいは10年後に実現するという記事を市の文書で見ましたが、義務教育学校創設がいつどういう形で正式に決定されたのか(市議会の議決など)を知りたく、市のホームページ上を何度も探しましたが確認できませんでした。そこで、どこまでが決まったことで、どこからが計画案なのかよくわかりませんが、その点が不明なまま私見を申し述べさせていただきます。</p> <p>1、結論 牧之原市は市内の小中学校9校と中学校3校の計12校を3つの義務教育学校に統合する計画を進めていますが、白紙撤回を求めたいと思います。そして今後も12学校を維持して欲しいと思います。</p> <p>2、理由 小中学校の統合を考える場合、大きく3つの点から検討する必要があるかと思えます。即ち、①教育面、②財政面、③小学校区の共同体の今後。</p> <p>牧之原市の資料をある程度読ませて戴きました。たとえば、 「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画」～学校再編計画～令和4年3月 「牧之原市義務教育学校施設整備基本構想・基本計画【案】」令和6年〇月 牧之原市教育委員会。 他です。</p> <p>しかし、上記3点についての検討が、①は不十分、②は極めて不十分、③は私が知る限り全く言及されておりません。にもかかわらず、最初から小中学校の統合ありきで話が進められてきた印象があります。統合すれば素晴らしい教育ができると、それだけを強調して来たように思えます。財務省の教育費節約の意向を受けて同様なことが全国的に行われており、牧之原市でも多くの時間をかけて検討されて来たとのことですが、たとえ時間をかけても、最初から統合ありきで、内容不十分な検討によって、小さな市の最重要案件の1つとも言える小中学校統廃合という課題に決着をつけるのは極めて問題があると考えます。12の小中学校、特に組合学校を除く8つの小学校が一旦消えれば最早2度と戻ることはありませんし、小学校を中心とするそれぞれの共同体の衰退に加速がかかることは間違いありません。市の人口は急速に減り、税収も減ることになると思われまます。</p> <p>以上が理由ですが、少し補足しますと、 (1)教育面について 教育面では①生徒の教育に与える影響の面と、②教職員に与える影響の面があるかと思えます。 ①生徒の教育面について。 市の文書では「こんなに素晴らしい教育ができます」ということが書かれていて、それ自体はすばらしいものですが、その多くは現状のままでもできることです。義務教育学校(小中一貫)でなければできないことは殆どありません。 また、大規模校になれば返って失われるものも少なくありません。1学年1学級、少人数学級、小規模学校だからこその長所があるはずですが、それらは最初から短所だと決めつけています。切磋琢磨や競争が必要ならそれは中学からでも遅くは無いでしょう。その先には高校があり、その先には社会や大学があり、切磋琢磨や競争の機会はいくらでもあります。 ②教職員の待遇 また、マンモス校で9年制になれば教職員の日常の業務はかなり複雑化し、これまで以上に疲弊する可能性があり、その結果、最も大事な生徒と触れあう時間が減るのは間違い無いと思われまます。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
32	つづ き	<p>(2)財政面について 学校統合の本当の唯一の理由は財務省が求める教育費の節約にあると思われませんが、その大事な事実を私が知りうる限り正面きって公表、指摘、説明していません。これは市民に対してはなほだ不誠実だと思います。 従って、例えば今後50年間について、学校校舎等設備の建設費、改修費、教職員の人件費等がどれほどになるかについて、従来の12校のままの場合と3つの義務教育学校の場合に分けて丁寧に試算し比較対照したものを市民に提示するべきところ、それが行われていないように思います。私はそのような書類を見つけることができませんでした。資料の中に学校建設費について一部数字がありました。が、全く不十分なものです。 従来の形(12校のまま)で学校校舎等設備の建設費、改修費、教職員の人件費等の節約をすれば、義務教育学校に統合した場合と比べて大差なしの結果が出るかも知れません。義務教育学校の場合、ことさら豪華な校舎(設備)にしたりスクールバスの費用がかさむなどの話が聞かれます。しかしこれまでの説明の中ではこれらについて十分な試算が行われていないため正しい判断ができないと思われま。</p> <p>(3)小学校区の共同体の今後について これまでの小学校区から学校が無くなった場合の共同体の将来像について言及がありません。教育には関係ないというならそれは余りにも無責任です。小学校が無くなれば共同体が衰退するのは目に見えています。国も地方も少子化対策の名の下に子どもを増やせ、人口を増やせと言いながら予算をつけています。しかし、その正反対の結果を生む政策(小中学校統合)を敢えてとろうとするならそれ相当の理由が必要だと思います。しかし、説得的な説明が見当たりません。</p> <p>(4)総合的に考えて さて、以上3つの点について私なりにプラスマイナス0～10点まで点数を付けたとすると、①の教育面では-10、②の財政面では+0～5、③の共同体の衰退の面では-10くらいになると考えます。全体では-20～-15でしょうか。間違いなく大きくマイナスです。特に教育委員会が掲げる、「基本構想・基本計画(案)」は教育面に特化しているように思いますが、それさえプラス面が見いだせません。義務教育学校でなければできないことは殆どないからです。</p> <p>3、結び 牧之原市は過疎の町とは言っても、関東、東海道という日本一の人口密集地域での過疎地です。住みやすい温暖な地域で、近隣にはそれなりに過密都市もあり、今後人が流入する可能性がないとは言えません。北海道、東北、九州のような全体的に人口が少ない地域とは異なります。 また、過疎の町には1人あたりの土地が広いという利点もありますが、なぜそれを生かさないうで、都会にあるようなマンモス学校をわざわざ作り、狭い構内に子供達を閉じ込めるのでしょうか。東京など人口密集地の子供達は否が応でも狭い場所に閉じ込められて日々ストレスが掛かっていますが、それは子育てにはマイナスだと思います。土地に余裕のある牧之原市ではもっと空間的にゆとりのある学校作りをするべきだと思います。現状のまま(12校のまま)であれば、将来新しい校舎を小さめに建てたとしても1人当たりの面積が広い校舎や校庭でのびのびと育てることができ、それによってこそ心が広くゆとりのある子どもに育つのではないのでしょうか。何故わざわざ大都会の真似事をするのか理解に苦しみます。田舎の良さを忘れていると言わざるを得ません。 以上、私の独断と偏見ですが、義務教育学校への併合には反対致します。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
33	オン ライ ン	<p>子供の数が減ってきているので、一くらすの人数や学級数を維持するために学校を統合するということだが、少ない人数ではだめなのか。少なければ教師の目も行き届くし、子供達の活躍の場も多いといえる。学校を大きくして人数を増やすと何がどう良くなるのか見えてこない。</p> <p>1学年4クラスとして9学年36クラスでは、体育での運動場や体育館の使用でも不自由になるのではないかと。まして体育以外での使用や休み時間での使用も、制限されるのではないかと。放課後も小学生が運動場で遊んでから帰るといえることができなくなるように思う。(体育の授業や中学生の部活動のため)歩いて通えるところに学校があるというのは小学生のためだけでなく、これから牧之原市で家庭を持つという若い世代にとっても魅力である。逆に言うと歩いて通うことのできないこの町(地域)でいいのか考えてしまうと思う。つまり地域の発展に繋がらない学校再編になる恐れがある。</p> <p>100年以上続いてきた伝統ある学校をなくしてしまうということは、地域にとって、また牧之原市にとっても大きな問題であると思う。一部の代表の人を集めて住民の意見を聞いたということにするのではなく、地区ごとに説明会を開くなど、多くの一般の住民に丁寧に説明して、理解をもらいながら進めて欲しい。まだまだよく知らないという人が大勢いる。</p>
34	オン ライ ン	<p>学校再編の見直しを切に希望します。 地域のコミュニティって何なのかをもう一度考え直していただきたい。 自助・共助・公助 自然災害の多い日本で最近はその三つに加えて 近助 という言葉が加わっているといえます。 地域コミュニティって何なのかをもう一度考えてくれませんか。 武井淳史著「地場教育」の巻頭に「首都圏に出て変化に追いつこうとしなかったら社会から取り残されてしまうのではないかと。」あなた方は本当にそんな風に感じていたのですか。 あなた方は公務員です。全て税金の範疇で行われています。 自分の足を使って地域の実情とか、環境とか いろいろな子供たち、保護者、近所のおじさん、おばさん・・・といっぱい話をしてくれませんか。それがあなた方公務員の仕事です。 地域の学校を残しながら再編を考える・・・という選択肢があってもいいと思います。今の学校を残しながら再編考えてよっ・・・っていう市民も少なからずいると思います。ホームページもラインも大切なのはわかりますが、毎日その地域で生活している人たちと話をして下さい。 鈴木哲夫著「期限切れのおにぎり」是非読んでいただけませんか？。 遅くはないと思います。もう一度考えてください。</p>
35	オン ライ ン	<p>入学式・卒業式についてはそれぞれ一回ずつというふうに捉えましたが、小学校と中学校の区切りとして進級式を行うのはどうでしょうか。 授業の進むペースは他の公立校と揃えたほうが良いと思います。 1, 2年生のバス通学について希望制となっていますが、募集にあたっては「遠い子を優先して、選ばせていただきます。」などの注意書きが必要だと思います。 放課後児童クラブは徒歩通学の子は学校で、バス通学の子は各地域に学童をつくることで、保護者の負担を減らせると思います。 トイレのスリッパは廃止して、全学年上靴で出入りするよう統一するのが良いと思います。 遊具はあったほうが良いと思います。 体育館シューズと上靴を分けるのをやめて、普段から体育館シューズのような動きやすいものにすることで、避難時に動きやすく、保護者の買い替えの負担を減らせると思います。 全学年私服登校にすればどうでしょうか、又制服もあり、私服もありにするのはどうでしょうか。 制服があるのであれば、ブレザーにして、スラックスをありにしてください。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
36	オンラ イン	<p>元小学校教員(浜松市, 名古屋市で30年以上勤務)です。 現在, 牧之原市で障害児相談支援専門員(相談支援事業所)として従事しています。(牧之原市指定)</p> <p>第2章 条件整理 2 特性に応じた教育活動 (2) 5年生からの部活動などへの参加(検討中) →教職員の多忙化解消のため, また教員志望の子ども・学生に「ブラックな職場環境」のイメージを払拭し適正な働き方であると捉えてもらうためにも「教育課程外」の部活動は学校教育から切り離す良い機会かと思えます。義務教育学校の教職員が部活動を担当しないことを議論してほしいと願います。私が知る限りでは, 名古屋市は小学校の部活動が全面的に民間に移行終了, 掛川市は中学校の部活動の地域移行が時期を定めて進められています。</p> <p>第3 学校施設の整備方針 2 つなかる「人・学ひ?・体験」 (2) 教職員か?つなかる →教職員が「子どもについて語る時間」を確保できると良いと思います。授業後は先生を子どもから開放し, SSWやSC等と話し合う時間が必要です。</p> <p>第4 エリアの考え方 1 エリアの分け方と動線の考え方 (3) 地域開放エリア (4) エリアを指定しないもの →学校図書館をぜひ地域開放してください。</p> <p>【学校施設整備基本計画】 (3) 多様な子と?もへの対応 1 障か?いを持つ子と?もや日本語指導か?必要な子と?もに対応したスヘ?ースの整備 ・障か?いの状態や特性に応じた指導 ・外国籍又は日本国籍で?日本語指導か?必要な子と?も</p> <p>2 登校に不安か?ある子と?もか?安心して?きる居場所つくり ・教室に行くことか?難しい子と?も ・学校に行くことか?難しい子と?も →環境整備の面での居場所づくりも大切だと思いますが, そういう状況になる前の配慮を手厚くするために, 入学前の就学相談や福祉・子育て支援等との連携により, 義務教育学校への「切れ目のない支援」が必要だと考えます。登校を渋る段階になる前にできることを「多職種の連携」で議論し, 入学時の一斉授業, 個別指導における, ユニバーサルデザイン, インクルージョン等の適切な考え方・導入をしてほしいと思います。(障がい児, 外国籍, 外国にルーツを持つ子どもへの対応)・・・福祉の視点を義務教育学校の教育課程に反映してください。</p> <p>第2 つなかる「人・学ひ?・体験」 1 9年間か?つなかる (1) 多様な学ひ?か?て?きる柔軟な学習空間 ・特別支援学級関係室は, 教室内の活動か?充実するクローズ?型の教室とします。 →インクルーシブ教育の議論を進め, 支援・配慮が必要な子どもの学習権を保証するために通常学級と支援級に「分ける」ことと交流授業等で「混ぜる」こと, 「混ぜた」場合にどのように配慮をするのか, そもそも常に同じクラスで過ごすことを前提にする・・・等を時間をかけて考えたいと思います。(合理的配慮を受けながら, 合理的排除されないように) (2) 9年間の教育活動か?充実する環境 授業, 休み時間, 部活動, 放課後児童クラブ?など?, 複数の学年や用途の違う活動か?同時使用 →(前掲)部活動の指導</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
36	オンラ イン	<p>2 教職員か?つなかる (1) コミュニケーションか?取りやすく、効果的・効率的な執務環境 →子どもの自殺者が増えていること等への対応を 地域のすべての人が当事者に 時代は変わってきています。今こそ、学校が変わるときです。 ・「不登校」「暴力行為」「いじめ」過去最多 ・特別支援学級・学校在籍 過去最多 ・児童虐待 過去最多 ・教員の休職 過去最多 →教員の労働時間を守る・・・サービスで時間外労働をしない(給特法の議論を継続) 教職員の勤務時間外に児童生徒が登校しない、残っていないことを徹底してほしいです。</p> <p>3 地域や社会とつなかる (1) 地域と共に子と?もを育むことか?て?きる環境 地域と学校の共育を推進するため、コミュニティ・スクール(CS)の活動の拠点となる地域活動室(以下CSルーム)を一般用昇降口付近につくるとともに、地域の人々か?活発に情報交換 やコミュニケーションを取り交流て?きる場となるような部屋を整備します。 →とても良い考えだと思います。コミュニティ・スクールの力を教育課程編成に活かせると良いと思います。</p> <p>【その他】 教育課程の自校の独立性→優先順位をつけて必要でないものをなくす 一斉授業の見直し→全否定するものではないがもう限界, 担任一人がクラス全員を同じ時間に指導することの見直し 「やりがい」ではなく、実際の勤務条件、仕事内容を突き詰めて働きたくなる職場を「教育課程」で示してほしい そのことが子どもへの最大の学習権の確保につながると考えます 精神的・経済的・社会的・性的な相談、支援、ケアに対応する仕事は教員の業務外にして専門職を配置してほしい 現行の学校教育法の範囲でもできることはたくさんある 「若者世代の住みやすい環境つ?くり」という目標は、「よい学校づくり」と直結すると考えます。</p> <p>【参考】 イエナプラン教育では、異年齢学級は、教師にとっても意味のあるものと捉えられています。すなわち、同質性に注目してしまう学年制から、異質性に注目する異年齢学級にすることによって、教師は子どもたちへの個別の対応をより意識するようになります。子どもたちの平均値に注目するのではなく、子どもたちのあいだの違いに注目せざるをえなくなるのです。</p> <p>リヒテルズ 直子, 苫野 一徳. 公教育をイチから考えよう (Japanese Edition) (pp.83-84). Kindle 版.</p> <p>このように、障害児を健常児から明確に区別してしまうのではなく、両者を可能な限りともに同じ教室で学ばせるというやり方は、イエナプランに限らず、ほかのオールタナティブ校でも積極的に行われてきました。元来、こうした学校では、障害児がほかの健常児とは区別される存在であるという見方をしませんでした。なぜなら、いわゆる「健常児」「普通の子」といわれる子どもたちも、それぞれに得意・不得意があり、好き嫌いや性格の個性があり、どの子一人をとってもあらゆる面で平均的に発達しているということはありません。子どもをできる・できないで分けるのではなく、一人ひとりの子どものどこに強い面と弱い面があるかを見極め、それぞれがもつ強さを伸ばし、弱い面・まだ力が伸びきっていない面を刺激するという考え方は、教師が、教室に居並ぶ子どもたちを一絡げにして、無個性の子ども集団として捉える見方を抑制します。そして、この点が学校全体できちんと確立していれば、なんらかの心身の障害をもつ子だけを別に取り上げて、ほかの「普通の子」とは異なる特別な存在として区別する態度は生まれにくくなります。</p> <p>リヒテルズ 直子, 苫野 一徳. 公教育をイチから考えよう (Japanese Edition) (pp.86-87). Kindle 版.</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
37	オンライン	<p>「学校施設整備基本計画」のp40, 41の施設一覧を見て(特に特別教室など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科室の数・・・相良3・榛原4 ・芸術教室の数・・・図工室1・美術室1 ・技術室の数・・・木工室1・電気室1 ・音楽室の数・・・前期用2・後期用1 ・家庭教室の数・・・調理室1・被服室1 ・体育館の数・・・大1・小1 ・グラウンドの数・・・大小 ・プールの数・・・大小 <p>この数を見ただけでも現実的にどう授業を展開していくのか理解ができません。現在の中学校教育を考えると理科室は各学年に1つずつ、美術室は最低でも2、音楽室は最低でも2は必要です。更に具体的に言えば、例えば理科室を例にとると、前の時間(または前日の放課後)を使って、教師は実験などの準備をする必要があります。それは当然教室が空いていなければできないことです。これに、小学生が利用するとすると、とても対応できるとは思えません。また、体育館、グラウンドなども同じことです。各学年、学級が十分に使えるとはどうしても思えません。「9年間の教育活動が充実する環境」の中に、「学年ごとの授業開始時間の違いや後期課程の定期試験時の遮音対策など、9学年の教育課程に配慮した配置や動線、建具等を工夫します。」とありますが、具体的にどうするのか、明確にはなっていない点に大きな不安があります。また、教職員の負担もかなり大きくなるのではないかと予想されます。現在でも十分な教員の数が確保されていないのに、更に定数が減らされ教師の負担が大きくなるのではないかと懸念されます。特に、小学5年生より、教科の専門授業をするということになれば、なおのこと、この課題は大きいものです。</p>
38	オンライン	<p>特に小学生についてですが、これから生徒数が減るという理由があっても、一つの学校にしてしまうには地域として広すぎると思っています。スクールバスを用意するから大丈夫という問題ではないと思います。</p>
39	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が大規模になると元旦の能登半島地震のような災害時に、学校を避難所として利用するのに距離的に住民にとって困難である。 ・学校は地域の中心的役割が大きいため地域のコミュニティがなくなるおそれがある。 ・子どもは地域の宝なので、歩いて登下校できることが大人と子どもの防犯や安心・信頼につながる。また牧之原市の郷土への愛着もわく。 ・子ども達は少人数クラスでのびのび学習し、地域の特性を理解継承したほうが牧之原市の将来の人財になるのではないかと。 ・大きいものに圧倒されたり、大人数に萎縮する人もいるので、不登校や苛め等が心配です。 <p>以上の理由から学校の規模を大きくするのではなく、各小学校の児童数を増加するよう考えていただきたいと思えます。</p>
40	オンライン	<p>牧之原市の子どもたちの未来が明るいものであり、学校が地域とつながって地域の力にもなることを願っています。「みんなの学校」の共通コンセプトは私たちの願いでもあります。相良地域のコンセプトにももっと「地域とともに」がはっきり打ち出されるといいと感じます。</p> <p>学校が身近にある地域に住みたいと願う人は多いと思います。学校とつながることが地域の住民の生きがいにもなります。新設される学校が遠い地域は、遠くにある学校と地域がどうつながるかを見通した視点が必要だと思えます。それに向かって、現在の学校や学校跡地の活用も含めて、専門家の意見のもとに進めてほしいと思います。グローバルな世界に生きていく子どもたちが、広い世界で活躍するとともに住居のある足元の地域をも大切にしてたくましく育つことを、学校が地域からなくなる場所の住民として願っています。</p> <p>また、学校規模が大きくなる中でも、いろいろな配慮がされて一人一人が今以上に生き生き学び、成長していくことも期待しています。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
41	オンラ イン	<p>当構想・計画検討等いろいろな面で苦勞され、ご苦勞様です。 当案につきまして意見述べさせていただきます。 結論として、情報が不足(偏っていて?)して、理解、判断が現時点難しいです。もう少し市民が関心を持ち内容が理解できるよう説明が必要と考えます。 まず、メリット、夢のような構想が前面に出て期待感はあるが、比較ができない。 将来、人口減少等で何かしなければ成り立たなくなっていく事は理解できます。しかし、市内2校案が妥当かは？です。 各地域の事情、特色、ふれあい、生活等々大切にしなければならない事の検討がなされていないと思います。 事実、関係者主の進行で各地域で全く検討されてない。シミレーション、仮想PDCA等行い市民が理解でき対応できる状況には程遠いと考えます。 特に、建設地区から離れた地域では、各構想にはこれらが重要で、このまま進めては、特に建設地区から離れた地域では、後で後手の対応、不利益、混乱になるのではと危惧します。 少なくとも、最初からの進捗を理解してない市民には、5W1Hで、いつ、誰が、何を、何処で、どうする...等、そしていくら掛かる(費用対効果、維持管理...) 新構想での、メリット、デメリット、他の事例。 特に小中一貫校の例は少ないかと思しますので、慎重に進めて理解させてください。 静大の先生等の学識経験者の意見も分かりますが、異論を持つ先生方の話、意見が挙げられず方向性、実現性、実際に通う子供達に本当にメリットがあるか、この時勢先生方が対応できるか等など解決しなければならない点、疑問点は山程あるかと思します。 タイムスケジュールも大切ですが、それに捉われず、構想→実現シミレーションを経てから次のステップへと進み市民にも理解出来る進め方を、考えていただければと思います。 現在の状況では、なるほどとは言い難いです。 時期は遅れてでも、現実性のあるものにしていただきたい。 人それぞれ考えがあると思います。 教育の場に広いコミュニティ場が必要か？ 牧之原市にそれだけの財政があるのか？ 限りある予算で本当に実現するのか？ 言ってる事と実現に差が出ないか？ やって見なければ分からないを少しでも減らせるよう、また市民に納得させるよう勧めて欲しいです。 いろいろ勝手に述べさせていただきましたが、よろしくお願ひします。</p>
42	オンラ イン	<p>計画案作成にご尽力いただいている皆さんに敬意を称します。ありがとうございます。 2030年に義務教育学校となることで、子ども達含め取り巻く市民のくらしは大きく変化を伴うと思ひます。入学後の転校(統合)は、子ども達や保護者、先生方に多くのストレスも与えると思ひます。教育の本幹は元より、環境整備の面で細やかな配慮があることと思ひます。(統合に反対ということではありません。)気づいた点をいくつか記入させていただきます。 ・不登校生とやメンタルケアを必要とする生徒の増大の予想。養護教諭・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、通訳、図書司書等の専門スタッフの増員配置をご検討いただきたい。(統合初期だけでも)合わせて、保健室の職員の配置人数、カウンセリングルームの余裕なスペースの確保、不登校生徒の登校する部屋を広めに確保してほしい。(カウンセリングルームなどは、会議室様ではなく、リラクスのできるような雰囲気のソファなどの配置もご検討してほしい。 ・図書館を将来登校時生徒にいつでも開放し、地域への開放も視野に入れていただけていることはありがたい。図書室司書さんが、本の運び入れなどを考慮した、子ども達の貸し出し返却も考え、校舎の下階に配置いただけたらと思う。難しい場合、エレベーターからと駐車場からの動線(搬入がしやすく、雨にも濡れないなど)を考慮してほしい。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
42	つづき	<p>・現在の学校のトイレは、目隠しに布カーテンを使用しているところが多いが、男子トイレも初めから個人のプライバシーが守られるように壁など配慮してほしい。(布物は悪臭の原因にもなり不衛生かと思う)温便座の採用も検討してほしい。(布製のシートを貼っているところもあり、不衛生と感じる)</p> <p>・建物周辺の交通環境へのご配慮ありがとうございます。現在でも周辺地域は雨天時に登下校の時間交通渋滞を起こしています。学校敷地内に右折侵入を禁止にするのはどうか。・制服・体操着に関して、統合を考慮し体操服の小学校別の配色をできるだけ早く統一していくことが望ましいと思う。2030年6年間の猶予期間を持ち、新入学生は、中学校区内統一していくのが望ましいと考える。統合後に配色が違うことは、元の所属を強調する形となり子どもたちにとってよろしくないと思う。(運営の厳しいと思われる学生協においても在庫管理が少なく済むので良いのではないかと)</p> <p>また、制服に関して、先日中学生の娘が寒さ対策のためズボンスタイルの制服を問い合わせたところ、「学生服(以前の男子用)でも登校は可」との回答を衣料用品店からいただいた。あまりにも乱暴な回答ではないかと思う。一昨年より榛原高校でも女子生徒のパンツスタイルが採用されている。今後の制服としてセーラー服は、防寒の機能性として問題がある。タイツは許可されたものの、ハーフパンツの下には履けないため、更衣が必要となる。</p> <p>制服の必要性から検討いただきたい。制服の場合は、女子のパンツスタイルも初めから選択肢に用意が必要と感じる。</p> <p>・スクールバスに関して、2年生まで距離に限らず希望制とありますが、雨天のことを心配して近距離でも多くの希望者が出るのが予想されます。バスの空き状況などから、地区によって条件により選別をするなどの記載をしての募集が良いと思います。</p> <p>(個人的には、1,2年生でも1.5kmは徒歩通学でよいと思います。)</p> <p>・放課後児童クラブ・徒歩通学圏内の児童に関しては、学校敷地内に配置でよいと思いますが、スクールバスの範囲の児童は、元の小学校の敷地内や元の児童クラブの周辺が良いのではと思います。児童クラブには送迎が必要です。保育園とお迎えを考えると場所が離れることにより、働く保護者の負担は大きくなるのが予想されます。また、学童クラブが地域に残ることによって、地域のコミュニティーとの繋がりも創設できる可能性を残せるかと思います。時には、コミュニティーの時間として、児童クラブ登録者以外も参加できるような活動も可能かと。建物の老朽化などで、元の場所での運営が難しい場合、他部署である子ども子育て課と協議し保育園のお迎え時間に余裕を持たせるなどの配慮をお願いしたいです。(小さい保育園児を迎えに行ってから、学童へのお迎えになると、駐車場で園児を車の中で待たせるなど危険行為も考えられますし、何人もの子どもを連れて学童へのお迎えを余儀なくされる場合があります。)</p> <p>・将来、家庭科室も地域開放や自校給食も視野に含まれることは大変嬉しいです。給食のない登校日はなるべく減らしてほしい(昼食が用意されていない子どもたちもいるので)ですが、地域に炊事場を開放してもらえることで、子ども食堂(地域の方とも食事)などを学校でできるようになると思います。必要な場合、食べてこない子どもたちには朝食提供も視野に入れてほしいと思います。</p> <p>・喫煙場所について 計画には記載が見当たらなかったように思いますが、教職員・保護者の喫煙場所を考慮ください。敷地内禁煙は大前提だと思いますが、子どもを預かっている間の喫煙はいかがなものでしょうか？その間の子ども達の安全配慮はどのようにしているのかと疑問に思います。禁煙教育の基本として喫煙者の大人が美味しそうに煙草を吸い、元気そうであることが一番よくないとされています。まず、下校時間まで禁煙をお願いしたいです。敷地内禁煙といえ、現榛原中学校では、正門前で喫煙する保護者やコーチなどがおり、学校に対する印象、風土など気になります。一般利用や災害時利用の体育館もありますので、表から見えないところへ喫煙所の配備も必要かもしれません。ご検討ください。</p> <p>・教職員の方々が教育に専念していただけるように、用務員の配置も必要かと思えます。CSDコミュニティースクールディレクターが用務員のような働き方になっている学校がありとても残念です。用務員のお仕事の必要性はあると思いますので、配備していただけたらと思います。2030年に統合をする計画ではありますが、それまでにも在校生は存在しています。対応できるソフトの面などは、統合を待たずして実践していただけたらと思います。市民として、子ども達の教育環境をサポートしていけたらと思っています。より良い、教育環境で牧之原市の子ども達がのびやかに心豊かに成長していけるように願っています。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
43	オン ライ ン	<p>まずこの案がカジノと全くシクロして進んでいる点がとても気になります、幸いカジノは立ち消えになりましたが同じ物差しで進んでいるのではないかと穿った見方をついしてしまいます。統合を否定はしませんが小学校はなるべく残してほしい、若い人たちが大きな学校のほうが学力的にも有利だと誤解している点も気になります。</p> <p>「萩間小学校はいいね」と何度も耳にしました、これは環境と規模がよかったということでしょう、是非慎重に話を進めていってほしいと思います。</p>
44	オン ライ ン	<p>榛原中学に作るのは防災面からよくないです。ぐりんぱの敷地を転用するのが、大津波や洪水リスク、竜巻など、記憶の届く過去事例でないから安全と思いたい間違いです。そもそもコメを作れるところに安全保障や食糧自給の地産地消の観点からもだめです。在学中の学生生活の質の低下を防げます。こんな基本的なことも理解できない大人が計画つくる学校には行きたくないです。</p> <p>これからは分散化と少数をネットワークで連携する仕組みに変わっていくので、今更大規模学校施設をつくるとか頭がおかしいとしか思えません、個性を伸ばすのに集団行動など必要ないです。</p> <p>chatGPTに聞けばわかるでしょ。中途半端な知識の大人が計画するなら、小さいものを改良して、若いアップデートできた大人がその都度計画したほうがいいですよ。コミュニティーがつぶれる現在、共通目標を話し合いでつくりあげる過程こそ、教育的、地域コミュニティ強化につながり、自分事として、地域システムを理解できると考えます。</p> <p>根本的行政官僚的仕事の進め方から改めるべきですし、人材いないなら人事転換や外部調達したほうがいいと思います。広報事前説明なしに30日でパブコメ終了とか、まさにおじさん行政仕事の典型例です。</p> <p>やってる感の証拠づくり、できたら老後私は関係ない職員の皆さん即死してください。誰のために人生かけて仕事しているか自問自答してください。</p>
45	オン ライ ン	<p>1. この案を決めていく話し合いの中の「学校再編計画策定委員会」2019年9月30日～2021年3月29日について</p> <p>①第1回使用の資料「児童生徒の推計(学校ごと)※牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」と書いてある児童生徒数の表ですが、</p> <p>萩間小学校の予想が2018年129名、2020年134名、2025年81名、2030年75名となっています。</p> <p>2023年度は149名です。あと2年で81名になるとは思えません。</p> <p>2018年に作った表がたった5年で間違っています。</p> <p>牧之原市の少子化の基本が崩れています。</p> <p>②2020年10月に行われた9小学校区の市民意見交換会での「意見」一覧表が話し合いで使われており、学校数について「2校案が多数」となっていますが、アンケートをよく読むと先に1校案が出ていて、それに対して「1校より2校の方が良い」という意見が多くなっているだけです。このアンケート結果を基本で2校案に決めたとしたら、この2点から、「学校再編計画策定委員会」の話し合いは成立しないと思います。</p> <p>2. 今回の案の中で3学級以上となっていますが、文科省は2学級～3学級が標準となっています。3学級以上は訂正をお願いします。大規模校や過大規模校になります。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
46	持参	<p>計画案ですが、市民への周知や理解納得が大変低い状況のようです。</p> <p>市民意識調査では「学校再編の取り組みに関し知っているか」の質問に対し、知っているのは今年になっても66.4%に過ぎません。昨年は56.3%なので少し増えてはいますが、牧之原市にとって過去にないような大きな事業規模であることを考慮すれば少な過ぎます。牧之原市は計画の策定に向け5年以上前から議論を進め、百数十回以上の説明会を開き4000人以上と議論協議したと言っているようですが、対象は“市・区・町内会の役員や教育関係者・PTA代表”が殆どで一般市民への周知や理解が全然不足しています。</p> <p>市民意識調査で「学校再編の取り組みを理解し納得していますか」と質問してみてもはどうでしょうか。6割以上の方々が“ノー”と回答するはずで。</p> <p>計画ありきで強引に進めるのはやめましょう。人口減少、少子高齢化、出生率の低下が牧之原市は県内でも悪い方です。こうしたことに対応する市政をお願いします。学校再編はこうしたことに拍車を掛けてしまいます。牧之原市に住みたくなるような、「社会福祉」「教育」「医療」「地域活性」などに資源を配分し、若い世代から高齢者に至るまで牧之原市に住んでよかったと思えるような市政をぜひ期待します。国の補助金に易々のらないでください。</p>
47	ファックス	<p>2030年プラス5年、マイナス5年、2025年から35年の間に南海地震が起きる可能性があるといわれています。石橋克彦『南海トラフ巨大地震』によると、駿河湾トラフが震源地になったとき、20mから32mの津波が発生する。地震発生から津波が来るまで5分とかからない(2011.3.11東北地震の時は発生から津波が来るまで40分)そうです。今、学校予定地としている所は海拔10mくらいの所ではないでしょうか。完成予定の2030年に地震が来たとき、今予定している場所で大丈夫なのでしょう。</p>
48	ファックス	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを重視するなら、今の学区のままが最適。遠くなれば年配の方は参加しなくなる。これまでも何回も“市民の皆さんの声”を聞いてきたというけれど、地域住民としての声を聞かれたことはない。お便りは時々届いてはいるが、参加できる対話型の形の呼びかけは、なかったと思う。 ・1クラスや1学年の人数を増やした方が、人とかかわりが増え、自分の考えを作りやすいというが、発達段階による。低学年のうちは、安心感が何よりで、少人数で目をかけ、手をかけて育てるのが良い。 <p>数年前に耐震工事もすんでいるので、私は今のままの学区・学校でよいと思っているが、どうしても一貫校で榛原に1つというのであれば、絶対に今の榛中のところに建てるのは反対です。かさ上げして済むことではない。あそこはズブズブです！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブコメでなく、対話型の話し合いを持つべき
49	ファックス	<p>子供の少ないのわ、わかります。でもあの田んぼを埋め立て学校をたつわ考えものです。町の人意見を聴いているのでしょうか？私は反対です。</p>
50	ファックス	<ul style="list-style-type: none"> ・私達がよく知らないうちに、どんどん決まっているようだが、本当に必要なことなのか、市民に広く知らせる努力をして欲しい。 ・歩いて通えるところにある細江小をなくしてしまうことは、細江地区の住民にとってデメリットの方が多いと思う。バス通学では新しく家を建てて住もうとする人が減る。 ・学校をなくすことは、地域にとってとても重要なことなので、一部の人だけでなく広く知らせて、意見を聞いて欲しい。
51	ファックス	<p>牧之原市は特に市民税が高いですが、新しい学校を作るお金はどこから出るのですか？市民の生活にさらに負担をかける事はないですか？</p>
52	ファックス	<p>今ある学校をそのまま残せば良いと思う。大きな学校にまとめる意味がわからない。いつこの計画が決まったか知らなかったです。</p>
53	ファックス	<p>広報で、ときどき学校再編の会合のお知らせや便りは見るが、どのような話し合いになり、どうなったのかわかりにくい。</p>
54	ファックス	<p>学校再編に関わる予算(例えばスクールバスの買上げ費用、人件費)等について、市民の負担はどうか心配である。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
55	ファックス	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への説明と理解していただくのが第一と私は考える。理解率は何%か。 ・建設費は十分なのか。市民の負担は？第二の夕張にならないのか。何か言えば「金がない」と言う。 ・今まで出ていた児童数の推計の間違ひがあるが、確認しているか。 ・小規模校は「何故」良くないのか。 ・大規模校は「何故」良いのか。 ・建設予定地→本当に考えるなら、牧之原台地に建設するのはどうか。立派な理想の校舎もいいが、安全に登下校できる学校を望む。
56	ファックス	<p>川崎小は、地域から通いやすく人数もいるので、やめてしまうことは疑問です。大きな学校にするよさもわかりません。 大事なことなので、住民への説明や理解を十分にしたいうえで進めてほしい。</p>
57	ファックス	<p>1 目的と背景 この「基本構想・基本計画」は市民からの要望で計画されたものではなく、「国からの公共施設マネジメント計画策定のためのものである。」ことを市民に周知することが必要である。つまり、牧之原市の大事な子どもたちのための学校再編計画ではないことを、どれだけの市民が知り、どれだけ理解できているか。を伝えるべきである。 また、本「構想・計画」には、具体的な牧之原市独自のビジョンが見えない。他市町でも通用するような「構想・計画」であり、読んでいても流れていってしまう。 小中学校10校を廃校にして、1200人越えの大規模な義務教育学校に再編することは、ほぼ全国に例のない大胆な計画であり、危険なことが予想されることをどれだけ理解できているだろうか。大規模校の良い実践例を知りたい。 私は47年間教育現場にいた者として、少なくとも行政の方よりも教育のことは経験から言えることがたくさんある。1クラス20人くらい(それ以下)の規模の学校は、子ども、保護者、教員にとって理想的な規模である。一人一人の子どもの顔が見える。名前もわかり、心に寄り添える。小さい時は、その位の規模で育てることが人間教育には必要である。温かい中で育てられた子どもは、やがて、大きく成長した時に、故郷に感謝の気持ちを持てるものだと、思える。今できているCSも、文科省で提案する前からできている学校が、牧之原市にはある。 子どもを地域が育てているし、地域も子どもから生きる元気をもらっている。その学校を地域からなくすことなどは、到底、考えられないのだが、歩いていけるところにある学校が無くなれば、もう取り返しはつかない。今の行政担当者は、その位の覚悟で進めているのでしょうか。 このパブコメの意見が、何人の方から、このような意見が出ました。で、終了するのではなく、大事に扱い、もう1度振り返り、市民と協働で推進する「基本構想・基本計画」であって欲しいと、切に願う。</p>
58	メール	<p>PDFファイルでしたか私は視覚障害者であって、VoiceOverと言う機能を使ってiPhoneを使って情報を得ていますが、PDFだと何にも読み込まないのでその案を見てない状態です。ただ私は子供たちのいろんな体験をしてほしい情報がいっぱいある中で、こういう風になると、正しい個体を正しいというか、こういうこともやってあゆこともやって、失敗しながら自分なりの個体を導き出そうねって言うことに対して手助けして応援できる教育をお願いしたいなあと思います。 正しいというか、こういうこともやってあゆこともやって、失敗しながら自分なりの個体を導き出そうねって言うことに対して手助けして応援できる教育をお願いしたいなあと思います。 あと障害物を最初から取り除くではなく、すごく危険な命に関わるようなこれをやると大変なことになるっていうことは取り外してもいいと思いますが、最初から危険だなあと大人が考えるものを取り除くんじゃなくて、子供たちの小さな失敗気づきをたくさん与えてあげて欲しいなあと思います またインクルーシブ教育とまでは行きませんが、同じ教室できるとこまではやって、専門的教育は他の教室でやる健常者の人もこれはダメって言うと、保健室や職員室の1部分的な避難場所があるって聞いたことがあります。それとおんなじようにこういう時は、みんなでこういう時は専門的なお部屋でって言うような感じで教育をしてほしいと思います。今みたいに確実に障害の持っている子は支援学校って言う括りはやめてほしいと思います。手助けの方法というか、声をかけることさえできない人たちが多いです。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見番号	申請方式	意見
58	つづき	<p>そしてそういうことだけではなく、いろんな意味でグローバルな教育をお願いしたいです。世界基準といいますがマナー的なものも含めてそのようなことにやれて、自然にも触れ合えてと言うことをやれるといいんじゃないかなあと思ってます。私50代ですけど前半ですけど、私の小学校インクルーシブ教育の部分がありました。1クラス軽い障害を持った子たちがいる教室がありました。しかし運動会とか1つの授業とか、そういう時には、障害のある子が同じクラスに入っていたことを思い出します藤枝の高洲南小学校でした。今はどうなのかなあ知りませんが、しかも藤枝の養護学校今の支援学校だと思いますががすぐ近くにあって、障害のある人を小さな時から見ていました。そうすると自然に困ってほしいなあと思いますただそれだけです。全然教育案に沿った内容じゃないですけど、そのところお願いしたいなあと思ってます。何でもかんでも、大人教育者などなどが守ってぬくぬくと育てるのが良いと思ってません。</p> <p>音声で文字入力していますので、漢字がめちゃくちゃでしかもまとまらない文章というかおしゃべりですみませんでした。</p> <p>入力フォームなど全部読み上げずしかもテキストフィールドが見つからなく入力できずメールアドレスがあったのでこちらの方で入力しています。申し訳ございません。せっかくホームページLINEがあるので全部読み上げない状態なのが辛いし入力もできないです。どうにかならないのかなあ。合理的な配慮の範囲だとは思いますが、だめでしょうか？</p>
59	メール	<p>1. 令和5年5月26日から施行された新盛土法について、市の対応は盛土したために地域住民の安心・安全の確保しているのか。</p> <p>①盛土したところは白色になり安全を確保されるが、洪水ハザードマップでは盛土した面積(150m×140m=210,000㎡)に対しておおむね1m浸水すると仮定すると追い出された210,000㎡の雨水はどこに行くのか。</p> <p>②普通校舎南に新設する調整池は構内の雨水に対して貯水するが、山から流れてくる雨水に対して貯めることはしないので、調整池体積3,000㎡も①に加算される。この調整池があることで、7班まへの田んぼと下流域と遮断されてしまうのではないかと。3月の説明会のときは普通校舎を現体育館に作る。9月の説明会の図面は道路がありました。11月の平図面には、仁田新川と調整池の間隔が無くなっているのではないかと。牧之原市義務教育学校施設整備基本構想・基本計画(案)ではページ51(2)には配置計画を考えて洪水時・・・の配慮した配置とします。どのように配慮されているのかわからない。</p> <p>③仁田北側斜面から排水される水が盛土されることによって一部仁田新川への流れを阻害される。農業排水路が無くなる。(現体育館とアーチェリー広場の道路は洪水時排水路になっている。)仁田本線山側(自宅前)の排水路の機能が低下する。</p> <p>また小規模な洪水が発生した時③の仁田本線側の排水路から出る水は②の調整池(現在田んぼ)の場所で溜まるようになっている。盛土することによってこの排水機能対策が無くなってしまふ。代替の道路と並行に排水路を考えてほしい。</p> <p>④盛土をした場合のハザードマップを作成して市民に周知してもらいたい。(仁田公民館を新たに建設する場所を検討したい)</p> <p>2. 洪水時の仁田浸水地域の具体的対策を検討していきたい。</p> <p>①R5年11.29 仁田町内会からの意見質問への回答について効果的治水対策例として排水機場を検討すると述べていますが盛土した場合浸水地域の拡大は宅地になるのではないかと。機場は浸水地域が田んぼの場合ですので対策としては不適切ではないかと。また県道金谷線(勝間田川の堤防)があるので機場の設備を配置するには無理があるのではないかと。機場の設置場所(ゲート位置)が県道の東仁田側になる。</p> <p>洪水対策の第一は排水(流す)ではないかと。現中学仁田本線歩道下のUカルバート(幅2.5m深さ1.5m)は平成17.18年ころ平成16年に災害対策としてできたと思います。それ以来仁田本線は冠水しても中学構内は冠水しなくなったのではないかと。</p> <p>②仁田新川の排水機能を向上させる。L型水路を採用(N値を上げ、水路断面を大きく)して排水機能を高める。</p>

■牧之原市学校施設整備基本構想・基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

意見 番号	申請 方式	意見
59	つづ き	<p>③仁田町内会がかかえる雨水の分水嶺面積は270ヘクタールあるので上流域に遊水池を作る。</p> <p>④浸水対策についての市の回答(No.38) 回答欄に道路、水路については要望等に基づき、計画的に整備をすすめて……回答がでていますが、仁田町内会で要望書をまとめてから市が洪水・浸水対策を進めるか。私は本体工事で盛土する前に対策をしなければいけないと考えます。</p> <p>3. すべて盛土工法ではなく、一部でも他の工法を選択し排水を遮らないことを考えてはどうか。</p> <p>①日本教育新聞に記載されている文部科学省「学校施設の waters・土砂災害対策事例集」を参考に地下(盛土部分)を直接排水するシステム。</p> <p>②日経で記載された佐賀県嬉野市塩田中学の高床構造。</p> <p>③内閣府のホームページに横浜市がテニスコートを遊水地につくり浸水した写真があります。内閣府が推奨している雨水貯留システム。テニスコートは浸水地域でいいのではないかと。</p> <p>4. 駐車場の整備について 普通車駐車場(245台)の整備について部活動などで雨あがりグラウンドが使用できない場合、学生が使用できるような構造にしたらどうか。イベントが開催できるような設計をお願いしたい。</p> <p>5. 建設工事費削減について 解体費用が大きな金額であった。解体時搬出されるコンクリートガラを駐車場整備の路盤材に使用したらどうか。また盛土高さ 現状高さから1.5mに決めた根拠を知りたい。1.0mでも十分ではないか。安全率を見ているのか知りたい。盛土高さが低減できれば工事費用が削減できる。</p>
60	メール	<p>そもそも市内の10の学校を廃校にし、2つの義務教育学校を作るという地域住民に関わる最重要なことを、広く周知もせず代表という名の一部の人だけで決定したのは全く納得がいきません。市内の小規模な学校でも100人を超え、それぞれ地域に根ざした教育活動をしているよさを市や教育委員会はきちんと受け止めてほしいと思います。その上でどうしても再編しかないというのなら、子どもの幸せを深く考え、地域住民の声に真摯に耳を傾けて対話を重ね、細かなステップを踏み丁寧に進めてほしいと思います。なぜ2校なのか、なぜ義務教育学校なのか、資料を読んでもその理由や必然性が伝わってきません。市民が置き去りにされたまま、学校跡地の活用などが議論されているのはおかしいです。昨年3月に市が招へいした京都の校長先生の講演を聞きましたが、都会の住宅地にある学校の再編と面積111平方キロメートルもある牧之原市の学校再編とは全く実情が異なるものではないでしょうか。新しい学校は防災施設としても使うといいますが、非常時にどうやってそこまで行けるというのですか。高齢化社会では、大きな立派な学校が一つあるよりも、近くてすぐに行ける場所が必要だと思います。総務省の公共施設マネジメント計画が学校再編の根っこにあり、公共施設の延べ床面積を減らしたいのだとは思いますが、10校もいっぺんになくすというのは、全国的にも例がないようです。もう一度原点に戻り、牧之原市の学校のあるべき姿を市民との対話を重ねて考えてください。</p>